

(8) 様々な相談の状況について

ア くらしと福祉の相談窓口

「くらしと福祉の相談窓口」は、令和2年(2020年)度に福祉総合相談窓口と市民相談窓口を統合して設置されました。複合的な悩みを抱える市民の相談をまるごと伺い、各担当課につなぐ役割を担っています。

社会的孤立やメンタルヘルスの課題など、自殺につながりやすい相談が上位を占めています。

表 3—4—5 「福祉相談」の内訳(上位5位)(令和2～令和4年度)

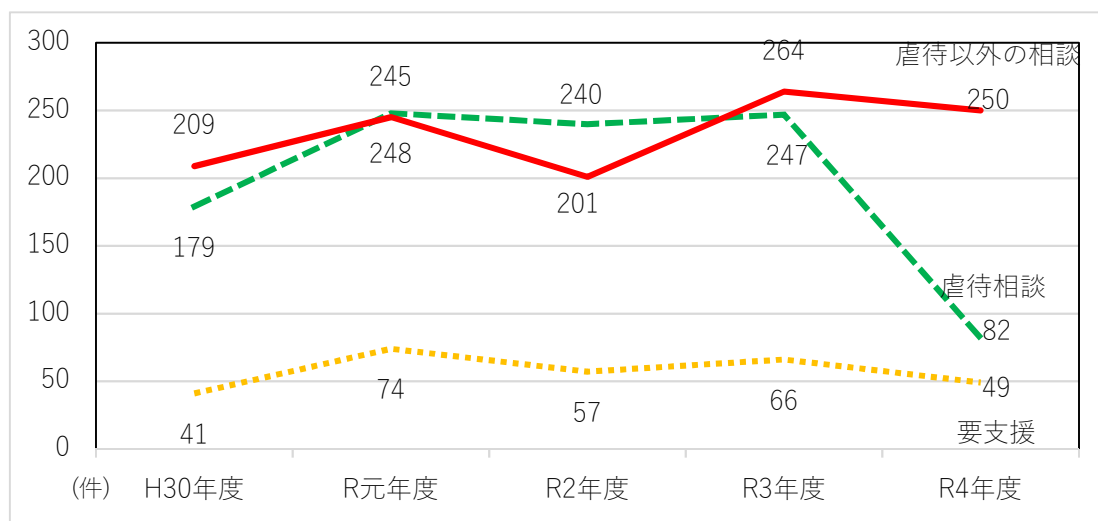
	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
令和2年度	家族関係	社会的孤立	経済的困窮	メンタルヘルスの課題	住まい不安定
令和3年度	社会的孤立	家族関係	病気	介護	メンタルヘルスの課題
令和4年度	社会的孤立	家族関係	メンタルヘルスの課題	介護	住まい不安定

資料：鎌倉市地域共生課

イ こどもと家庭の相談室 新規相談件数の推移

令和3年(2021年)度は虐待以外の相談が増えています。令和4年(2022年)度の虐待相談は82件で、令和3年(2021年)度の247件と比較し、見かけ上大きく減少しています。この理由は、これまで本市独自の運用として児童相談所が支援する児童も市で支援することがあることから、市での対応件数に加えていましたが、児童相談所との協議により、令和4年5月から、この運用を廃止したことによるものです。なお、市での虐待相談件数は大きな増減はなく推移しています。

図 3—4—14 子どもと家庭の相談室新規相談件数の推移



資料：鎌倉市こども相談課